

地域高規格道路松本系魚川連絡道路意見交換会まとめ

市町村名	池田町	
開催日時	第1回 10月3日(金)	第2回 10月22日(月) 24日(水)
項目	意見・提言等	
1. 道路行政全般について	<ul style="list-style-type: none"> 道路工事は地元の業者に頼み、町内の雇用や経済が潤うようにしてほしい。 地域の活性化は道路建設とは別に考えていかなければならない課題である。 JR、空路等を含めた、全ての交通手段を考えて検討すべきである。 	
2. 地域の課題、問題点(まちづくり、自然、生活)	<ul style="list-style-type: none"> 池田町には、県道が一本しかない。しかも道幅・歩道が狭く、大型車が路肩駐車さえぎって危険である。 松本に入る東西間が渋滞になる。 豊科インターから19号にでない車は穂高方面へ向かい堤防道路へ流れる。147号(国道)池田の県道、堤防道路が大町で1つにまとまると渋滞になる。 池田町は鉄道もなく交通の面で生活に支障をきたすほど不便である。松本に行くのに時間がかかり不便である。冬場の渋滞もひどい。道路が少ないため災害等が発生した場合も対応が出来ず交通が麻痺する。 交通の便が悪いため人口もなかなか増えない現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 松川側にはオリンピック道路が整備されていて渋滞も深刻ではない。 道路の融雪による塩害の被害がある。地下水にも影響が出ている。 明科町の長峰山から安曇野を見れば20m巾の広域高規格道路を作る余地はない。 安曇野の景観は、21世紀に残したい日本の風景の100番目に入る程のもので、守る必要がある。 安曇野に道路が増えると、車両が増え、排気ガス公害になる。環境破壊を防がなければならない。 池田町の将来に必要なかどうか、介護面、財政面等を含め十分に検討してから計画すべきである。 豊科インター周辺からの下り道路は平成18年に「あづみ野新橋」が完成予定である。
3. 道路の必要性(建設の是非)	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀はアジアの世紀である。環日本海産業の発展に取り残されないようにこの地域に高速道路網は必要である。交通利便性が増せば、工場誘致が可能。雇用状況が良くなり、町の活性化につながる。 公共事業を起こし、社会資本の整備を行えば景気が良くなり税収も上がるのではないか。 道路整備は必要である。生活道路の改善が困難であれば、高規格道路の新設が必要である。 池田町は車社会が定着しており、車なしでは生活出来ないの道路整備が必要である。 白馬、小谷は災害などの代替道路がないので整備は絶対に必要である。市町村合併や、JRの廃線等のことを考えると高規格道路は必要となる。 医療面から見ても地域高規格道路は必要である。 国営アルプス安曇野公園の開園により、入り込み客が大幅に増加すると見込まれば道路整備が必要。 高規格道路が出来れば、バスを利用した輸送も可能となる。 他市町村との連携を含め考えると、地域高規格道路は必要である。通勤時や冬季の白馬の渋滞緩和、排気ガス等の公害についても有効であると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境、景観を守る必要がある。高規格道路が出来ると景観、騒音問題が悪化する。 建設費用は国、県の負担で市町村の負担が軽いといっても結局は国民一人ひとりの負担である。子供達に借金を負わせてはならない。大型道路建設は再検討、もしくは必要無い。 莫大な費用をかけて道路を作っても、それ程地元の経済効果、観光客の増加は見込めない。木崎付近では青木湖にバイパスが出来た結果、通過交通が増え、商店が1軒以外つぶれてしまった。観光面でも同様である。道路が出来ても町が栄える保証は無い。池田町にインターが出来た場合、町の活性化に逆効果を与える可能性がある。 少子化に伴い渋滞も緩和するのではないか。人口比率も変わって来ると予想される。10年、20年先の必要性を考えれば道路は必要ない。 安曇野にほとんど渋滞はなく、高規格道路は必要ない。経済状態を考えても全く必要ない。 現状の道路で十分である。非常時にはヘリを飛ばせばよい。 高規格道路を作ると暴走族等の不安がでてくる。
4. 整備手法、ルート案	<ul style="list-style-type: none"> 景観については、十分配慮できる方法として、川を利用して道路を作る等がある。堤防内に道路は作れないかもしれないが、堤防を動かして外側に作る、川を狭くする方法をとるなどの案がある。 高瀬川左岸を高規格道路として整備することを望む。その際、安曇橋以南のルート検討は慎重に行う 地域高規格の幅員確保に支障があれば予算の縮小を考え地域要望の多い2車線確保の整備を行う。 大規模地震に備えて堤防の整備と一体化した道路を左岸堤防内に作ることを望む。 環境(塩カルルの被害等)騒音等の問題を解決し、地震に備え活断層を避ける。 インターを含むアクセスの部分に配慮し、病院間のアクセスも考えたルート計画を望む。 現在交通量のバランスの取れている豊科インター周辺に新しい道路が開通すれば、豊科インター～松本間の上り方向に渋滞が発生する可能性を考慮する必要がある。 工事区間(大町～糸魚川、大町以南)によって工事の期間に差が出ることを考慮する必要がある。全路線の早期実現を考えるならば、部分的な整備を考えるべきである。 池田町を通る地域高規格道路のルートで、池田と追分の2カ所にI.Cを作してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高瀬川左岸道路は一方通行で道路として意味がない。左岸道路の対面通行化が必要である。 大町以南は既存道路の整備を行う。松本系魚川間はスピードアップされ、広域高規格道路1時間設定と、それほど変わりなくなると思われる。その他、現道5～6本の改良が必要。(歩道・自転車道・車道の専用レーン化/立体交差の増設/右折車の専用信号/梓橋の4、6車線化/R147号とR19号が交差する新橋信号機の交差点整備/JR篠ノ井線をくぐるトンネル化/オリンピック道路の立体化整備等) 波田-糸魚川の計画は必要無い。左岸に高規格道路の整備を行わない。松本-大町間には多数の幹線道路があるため高規格道路建設は特に不要である。環境を破壊することを十分検討する必要がある。(水など) 高規格道路が出来ることによってJRが廃止になることが心配である。JRは残してほしい。 安曇野の自然を第一に考えながら南北道路と東山から日本アルプスまで通ずる東西道路を新設整備して、暮盤の目に模した道路網を作り上げる「安曇野広域高規格道路長期計画」(仮称)を提案する。 会染地区に東西の道路を増設する。
5. 今後の進め方について(住民参加、広報、情報提供、合意形成)	<ul style="list-style-type: none"> 大町北部以北については、交通量・地形・費用・防災・環境に対する様々な影響の調査研究を行い、必要性が認められれば、財政との整合をとり整備を進めたい。 	
6. 意見交換会について		
	<ul style="list-style-type: none"> 知事に現状を見て欲しい。 観光の町にするか、地域の人が住み良い町にするか慎重に検討する必要がある。 	